

# 砺波エリア新警察署 基本構想

令和 6 年 7 月

富山県警察本部

## **(1) 背景**

県警察を取り巻く社会情勢は、北陸新幹線の開業や道路交通網の発達、情報通信技術の進展、人口減少や少子高齢化の急速な進行など大きく変化している。他方、治安情勢は刑法犯認知件数や交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、行方不明や人身安全関連事案、サイバー犯罪等といった新たな治安上の脅威が深刻さを増している。

このような情勢の変化や県民の多様なニーズに的確に対応し、限られた警察力で県警察の機能を最大限に発揮し、将来にわたり高い治安水準を保持できる、しなやかで強靱な組織体制を構築するため、令和4年2月に「富山県警察機能強化推進計画」を策定した。本計画の重要な柱である警察署の再編整備については、隣接する小規模警察署を統合し、総合的な治安機能を高めるとともに、統合の機会に合わせて十分な施設規模及び機能を有する新たな警察署を建設することとしており、本エリアは砺波警察署、南砺警察署及び小矢部警察署の3警察署で再編し、砺波市苗加地内において新警察署を建設するものである。

## **(2) 基本構想**

### **I 県西部の交通の要衝を管轄する警察署として多様な事案に的確に対応できる機能を有した施設**

北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道が交差し、石川県や岐阜県へ通じる国道など交通の要衝を管轄する警察署として多様な事案に的確に対応できる施設とする。

① 突発重大事案や大規模警備等において、情報の集約、分析、捜査指揮等が可能な施設とする。

◇ 多様な情報通信システムに対応できる施設とする。

◇ 地理的利点を生かし、部隊集結場所や運用拠点として、大型車両駐車スペース及び部隊員待機スペースの確保を図る。

② 複雑多様化する警察事象に対応できる施設とする。

◇ 複数の捜査本部事件に対応可能な捜査会議室及び取調室を確保する。

◇ サイバー犯罪捜査等に対応できる分析室を確保する。

◇ プライバシーに配慮し、安心して相談できる相談室を確保する。

◇ 長期保管証拠品等を管理できる保管倉庫を設置する。

◇ 機動警ら隊等本部執行隊の活動拠点となる執務スペースを確保する。

③ 事件・事故発生時における迅速かつ的確な初動警察活動が可能となるよう出動動線及び執務室のレイアウトに配慮した施設とする。

④ 凶器を使用した凶悪事件等に対する現場対処能力の向上を図るため、錬度の高い実戦的な武道訓練等が可能な施設とする。

⑤ 幹線道路に近い立地効果を最大限活用し、犯罪の抑止力も期待できる施設とする。

⑥ 女性の働きやすさに配慮した施設とする。

◇ 女性専用スペースのほか、施設の整備に女性の視点を反映する。

## II 地域の治安・災害拠点として警察活動を維持する機能を有した施設

- ① 大規模災害発生時における警察活動の拠点施設としての強度と安全性を備えた施設とする。
  - ◇ 大規模な地震の揺れによる庁舎の倒壊を回避し、拠点施設としての機能を維持できるよう、耐震に関する施設の重要度係数1.5で整備する。
  - ◇ ヘリコプターの飛行場外離着陸場の設置を検討する。
- ② 災害等でライフラインが途絶した場合でも、警察活動の拠点としての機能を維持できる施設とする。
  - ◇ 停電時に警察活動を維持できる容量を備えた非常用発電設備を設置する。
  - ◇ 給水設備は上水道のほか雨水・井戸水・排水再利用設備等の検討を行い、長期の断水に備える対策を施す。
  - ◇ 情報通信機能、ライフラインを維持するために必要となる非常用発電設備や受変電設備を安全な高さに設置するなど浸水対策を施す。
  - ◇ 積雪時においても迅速に出動できるよう融雪設備を設置する。

## III 高度なセキュリティが確保された施設

- ① 敷地内に入出入りする経路は可能な限り集約し、敷地内への人の立入状況が容易に把握できるものとする。
- ② 一般来庁者の庁舎通用口等からの侵入を防止する施錠設備等を設けるほか、庁舎の扉、窓等については高い防犯性能を有する素材・構造の製品を活用する。
- ③ 庁舎内は来庁者エリアと署員エリアを管理扉等により区画し、各階の署員エリアをつなぐ専用階段を設けるなどして分離する。
- ④ 敷地や庁舎内への人の出入りを的確に把握し不審者の侵入を防止するため、防犯センサーや防犯カメラなどの防犯機器のほか、顔認証システム等セキュリティレベルの高い設備についても効果的に活用する。
- ⑤ 県民の生命・財産に危害を及ぼす可能性のある拳銃保管庫や各種装備品、機器、文書、証拠品等が保管されている執務室等については高度なセキュリティを確保する。

## IV 来庁者の利便性に配慮し、安心感・親近感が持てる施設

- ① 駐車場は、来庁者用と警察車両用を明確に分離するとともに、表示板や融雪装置を完備するなど、安全で利用しやすい施設とする。
- ② 庁舎は外観・色彩デザインは、悪に毅然と対峙する治安拠点としての面と被害者や県民に親しみやすい側面を併せ持つ施設とする。
- ③ 明るくゆとりのあるエントランス、用途に適した色彩を配した施設とする。
- ④ 身障者、高齢者等に配慮したバリアフリー化を図った施設とする。
- ⑤ 相談者等のプライバシーが確保された平面配置や防音措置を図った施設とする。
- ⑥ 誰もが使いやすい「ユニバーサルデザイン」の考え方にに基づき、室内環境性や情報化対応性など機能性に配慮した施設とする。

- ⑦ 初めて来訪する県民や外国人等にも分かりやすく、動線に無駄のない機能的な施設とする。

## V 周辺住宅に配慮し、環境に優しく経済性に優れた施設

- ① 「富山県SDGs 未来都市計画」との調和を図った施設とする。
- ② カーボンニュートラルの推進に向け、温室効果ガスの排出削減や環境負荷の低減を図るため、「富山県カーボンニュートラル戦略」における県率先行動に基づき、省エネルギー・省資源対策等を講じた施設とする。
  - ◇ 照明のLED化や施設のZEB化を推進する。
  - ◇ 太陽光発電設備など再生可能エネルギーの導入を検討する。
- ③ 自然エネルギーの活用による省エネルギーに配慮した施設とする。
  - ◇ 自然採光・通風の確保により自然エネルギーを活用する。
- ④ 快適で無駄のない建築・設備を備えた施設とする。
  - ◇ 各室の機能と利用状況を十分考慮した効率的な設備計画と機器を選定する。
  - ◇ 断熱性能の強化や高効率機器、節水型器具等を採用し、省エネルギーに配慮した施設とする。
- ⑤ 建設コストを縮減した施設とする。
  - ◇ 工法や使用材料を工夫し、コストの縮減を図る。
- ⑥ 維持管理費の縮減対策を考慮した施設とする。
  - ◇ 維持管理のしやすい施設づくりを検討する。
  - ◇ ランニングコストを考慮した設備とする。
- ⑦ 田園地帯が広がる立地環境に配慮した施設とする。
  - ◇ 発電機室、検視室等の騒音、振動、臭気等の対策を考慮する。
  - ◇ テレビ電波受信障害等の対策を考慮する。
  - ◇ 調整池機能を併せ持つ駐車場とする。
  - ◇ 早朝・深夜時間帯における周囲の静穏を害さないよう、防音措置に配慮した施設とする。